

障がい者の熱中症発生の実態調査

調査対象：都道府県の福祉課に登録されている障がい者施設の中で身体障害への通所利用を含んでいる施設から抽出

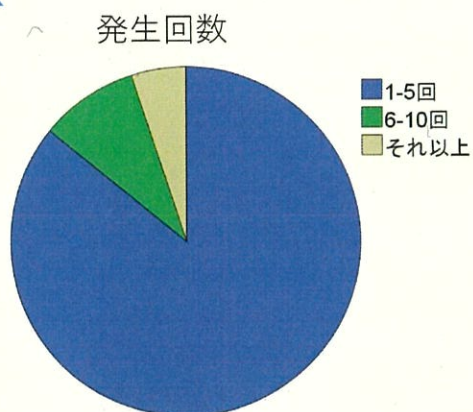
調査票送付：888施設

回答施設：302施設

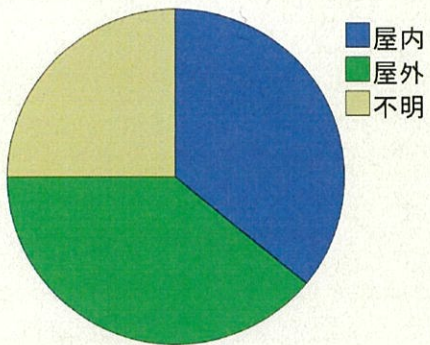
過去1年（2020年の夏）に施設利用者において熱中症症状の発生はあったか？

あった：105施設 (34.8%)

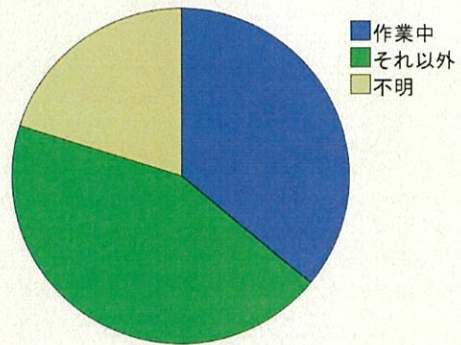
なかった：197施設



熱中症の発生は屋内と屋外どちらの頻度が多いか



熱中症の発生状況として、体を動かす作業中とそれ以外のどちらの頻度が多いか



熱中症への対応が始まるきっかけは、本人の訴えと職員の気づきとどちらが多いか

